

有明高専

図書館報

No. 18



目次

巻頭言	2
「私の薦める一冊の本」紹介文	3～6
教職員推薦図書	7
読書感想文秀作選	8
新着図書紹介	9～11
美術ギャラリー紹介	12～13
図書館ガイド～本や雑誌を探すには？～	14
図書館統計	15
郷土の文化財・編集後記	16

有明高専生が最近、 大人しく、真面目になってきた…

図書館長 焼山 廣志



有明高専に赴任して25年目を迎えようとしているが、最近、特に感じるようになったのは学生が随分大人しく、真面目になってきたことである。教室内が静かで、授業がとてもやりやすい。授業態度も悪くない。しかし、その分、学生の反応が鈍いように感じる。リアクションが少ないことに幾分物足りなさを感じる。その大きな要因は自分自身の加齢による学生との距離感であろうと、若い時分のことを無性に懐かしむような心境になっていた。ところが、この学生の風潮は全国的なことである調査が、「高校生、親世代よりまじめ勉強熱心6割、30年で急増」という見出しで朝日新聞に載っていた。一部引用してみる。

「授業や勉強に熱心」と答えた高校生は6割を占め、30年前の1.7倍にのぼる。そんな結果が、同志社大の尾崎史章教授らによる兵庫県南部10校の30年にわたる追跡調査でわかった。東北、中部地方を対象にした別の調査でも、同じ傾向だ。「生徒のまじめ化が進んでいる」と研究グループは見る。

厳しい規律消え、逆らう経験減る

明らかになったのは「まじめ化」だ。授業や勉強に「熱心」と答えたのは57%で、30年前(1次＝34%)の1.7倍。授業に充実感が「いつも」「しばしば」「たまに」と答えたのも計79%で、やはり1次(48%)の1.7倍に達した。入学した頃より学習意欲が向上したと「強く」または「どちらかといえば」思うのは計62%で、1次(45%)の1.4倍にふくらんだ。15年前の2次と比べても、遅刻を「まったく」「ほとんど」しなかったのは計73%で12ポイント増。礼儀正しくするのが「大変」「少し」得意なのは計75%と20ポイント増えた。単純なことでもこつこつやるのが「大変」「少し」得意なもの、計55%と15ポイント増加した。権威を重んじる態度も浮き彫りになった。権威のある人々には常に敬意を払わなければならないと「そう」「どちらかといえば」思うのは59%で、2次(42%)から17ポイント増えた。

高校生の意識変化は、青山学院大の樋田大二郎教授も79、98、09年の3回、東北と中部地方の計2県で調べている。ここでも「先生の授業を熱心に聞いているほうだ」は、79年に37%だったのが98年が48%09年は68%と79年から09年にかけて30ポイント以上上昇している。「授業でわからない点は、いつまでもそのままにしておかないほうだ」も33%、36%、48%と計15ポイントアップ。「先生からよく見られるためにも規則に従っている」は22%、28%、41%と倍近くに増えている。(2012年11月21日 朝日新聞朝刊)

その一方で中教審の大学分科会が、各大学に対して学生の勉強時間を把握することや、増やすための取り組みをするよう求める答申を検討している。その背景には産業界からの強い要請や大学間の国際競争に勝ち抜くための、大学生の質の向上を狙ったのだと思われる。それだけ日本の大学生が勉強に時間を割いていないとの分析だ。この事態と、上記の高校生の実態調査の分析とは一見、相矛盾することのように見える。

しかし、私はそれを「勉強」という概念の再考という視点で考えれば合点がいくと考える。聖学院大学長・阿久戸光晴(あくど・みつはる)氏が「大学生の学習の向上とは、時間の量ではなく、質の向上にかかっています。時間の質とは充実した集中時間のことです。「考えることが楽しい」「今この問題を考えることが自分にとって切実だ」という課題意識がはっきりする時、学生は自ら進んで図書館へ行き、気がいたら夜になっていたり、驚くほど分厚い本を読み始めたりするようになるのです。大切なことは時間の量ではなく、勉強の質です。」(朝日新聞 7月31日記事)と述べている、そのことである。

つまり、学生諸君が「学ぶ」というのは、受身ではなく、能動的に自分が事象に対峙するところから始まるものと考えます。今の高校生が、授業中静かになり、学習する環境が整いつつある中で学べることは素晴らしいことである。しかし、そこに自分自身への働きかけがなされなければ、本当の「学ぶ楽しさ、喜び」はいつまでも体得できない。だから、やる気も起きない。授業や講義を真面目に聞くことだけが「勉強すること」ではないことを気づいてもらいたい。いや、むしろそれ以外のほうが断然面白いことに気付いて欲しいのである。

NPO「カタリバ」代表理事の今村久美(いまむら・くみ)氏は、「大学での学びって何でしょう。授業と直接関係ない読書、NPOや地域などでの活動、企業でのインターンシップ。どれも学生にとっては大切な学びになっているはずです。そうしたことがつながって血肉となり、結果的に自分の強みになっていく。「学習時間」は、単純にはとらえられないと思います。

例えば企業で働く人の労働時間については、企業がオーナーシップ(所有権)を持っている。でも学生の時間は学生自身がオーナーシップを持っている。大学のものではありません。自由な出会いとチャレンジが想像を超える学びになる。それが学生の特権です。いまの高校までの学校教育では社会と接する時間が少なく、興味のあることを見つけ、膨らませる機会が乏しいのが現状です。だから多くの高校生が偏差値で進路を選んでいきます。大学生になって初めて、真の意味での学びの場に放たれる。何に関心を持ち、どう学んだらいいかというルールは敷かれていません。医療系の学部などは別として、学生は一般的に自分が将来「何者」になるか分らない。ですから大学の役割は、詰め込み教育的な考え方で勉強をさせることではないのです。学生自身が興味を見つけ、自ら学びたい。その内発性に火をともしあげることでしょう。」(朝日新聞7月31日朝刊)と論じられている内容が、私の思いと重なる。

有明高専の学生諸君、自分にとっての本当の「学ぶ楽しさ、喜び」との邂逅を求めて、有明高専の図書館に足を運んでみよう。

有明高専の図書館も学生諸君に興味を持ってもらえるよう様々な仕掛けを考え、来館を心待ちにしている。

平成24年度

「私の薦める一冊の本」紹介文

有明高専生によるブックレビューです。3回目を迎える今年は、550編もの作品が応募されました。

集まった作品は、図書館長と図書情報管理部室員、各学科から選出された教員10名で構成される審査員によって厳正な審査が行われ、優れた作品11編に賞が贈られました。入賞者は12/21(金)の全校集会で発表され、クラス全員が応募してくれたクラスには、優秀クラスとして校長より表彰が行われました。

入 賞 者

機械工学科 5年	森本 幸弘	『大局観』
電気工学科 3年	伊木田公貴	『車輪の下』
物質工学科 3年	堀澤 歩	『イニシエーション・ラブ』
2年1組	古澤 英子	『永遠のO』
2年2組	椎原 奈央	『何もかも憂鬱な夜に』
2年2組	篠崎 鮎美	『おちくぼ姫』
2年2組	兵藤安季紗	『妖怪アパートの幽雅な日常①』
2年3組	舍川 誠太	『永遠のO』
電子情報工学科 1年	加藤 千佳	『生きてだけでなんくるないさ』
物質工学科 1年	大石 侑季	『カラフル』
建築学科 1年	荒木 宏斗	『置かれた場所で咲きなさい』

優秀クラス

機械工学科 1年
物質工学科 1年
機械工学科 3年
電子情報工学科 3年
機械工学科 5年



全校集会でのクラス表彰の様子(12/21金)



『大局観』

羽生善治著

機械工学科5年 森本 幸弘

将棋界では言わずと知れた名人、著者の羽生善治は、自身の半生からタイトルの三文字を捻出した。将棋には制限時間があり、その中で二度と後戻りできない一手を交互に指していく。プロの世界だと、たった一手のミスが大きく勝敗を分けてしまう。著者はこの厳しい条件を克服し、盤に向かい闘う様子を、人生に置き換えながら本書で語っている。年を重ねていくにつれ、若年の頃より良い判断力を着実に身に付けていく為に、この「大局観」は大きく関わってくる。一般の方にも分かり易いよう配慮された内容であるが、稀に将棋を知っている者でないと共感できない表現が含まれている。しかし分かる者にとっては、より鮮明に著者の考えを分けて貰うことができる一冊である。たとえ生きていく土俵が違って、著者の「闘い」に関する価値観や概念に触れるのは新鮮で後味が良い。読後、折に触れて本書を思い出し、勝負の中で新たな自分を発見していくのも楽しいかもしれない。



『車輪の下』

ヘルマン・ヘッセ著

電気工学科3年 伊木田 公貴

この作品の作者は、詩人になりたくて学校を辞めた変人である。その変人の半生を元に著されたのがこの作品だ。

主人公のハンスは幼くから勉強ばかりしており、神学校へ入学する。神学校とはやがて神に仕え人を導く人間として教育する機関であるため、将来も保証されており国中の秀才たちが受験する。その学校に二位の成績で入学するのだが、詩人になりたいがために学校を辞める悪友ハイルナーと出会う。元々優れた感性を持っていたハンスは彼との出会いにより勉強に疑問を持てしまい、迷える子羊と化す。

この作品の面白い点は墮落してゆくハンスに共感してしまう事だ。大人から感性を押し潰され勉強の意味に疑問を持つ。読んでゆくうちにあたかも自分が二人と同じ境遇にあるように思えてくる。幼き頃に何かを失ったのではないか。感性を押し潰すのは何か。「車輪の下」で今一度考えてみてはいかがだろう。



『イニシエーション・ラブ』

乾くるみ著

物質工学科3年 堀澤 歩

大学生の僕がマユに出会ったのは代打で呼ばれた合コンの席だった。

これがこのストーリーの始まりである。僕とマユの出会いから付き合ってから関係を深めていくラブストーリー…に見えるのがまず第一の印象なのだが、実ははれつきとしたミステリーなのだ。しかし、犯人がいて事件が起こるなどという普通のミステリーとは全く異なっていて最後の最後まで読まなければ何がミステリーかも分からない。僕が経験する恋愛をまとめたただけのような一冊のどこにミステリーが組み込まれているのか、そこが重要となっているのだ。

本当の恋愛とは何か。真実とは何か。それを感じる作品でありミステリーなのにメッセージ性もある不思議な作品でもある。一度読むと必ず二度目が読みたくなるという。あなたは何が真実かを見極めることができますか。ラスト二行を読んだ後あなたはこの物語をどうとらえますか。



『永遠の0』

百田尚樹著

2年1組 古澤 英子

「必ず生きて帰ってくる。たとえ死んでも」かつて臆病者と罵られた零戦パイロットがいた。夢を失いかけた青年・健太郎と姉・慶子は特攻で死んだ祖父、

宮部久蔵のことを調べ始める。かつての戦友たちに話を聞くうちに浮かび上がる祖父の真実の姿とは。

この物語は読者に命の重みを訴えかける。国のために命を捧げる零戦搭乗員・特攻のための訓練をする予備学生。そんな彼らに「生き残ること」を教えた宮部。生の感覚をなくしていく戦場で宮部は恥じることなく「死にたくない」と生への異常な執着をみせる。

生きて帰れない特攻や不利な条件下での戦いには戦争への矛盾を強く感じさせる。凄腕を持ちながら、命が惜しいと話す宮部。これこそが人間の本当の姿ではないのか。

戦争を知らない人が読んでも、人間とは、戦争とは何かを痛切に考えさせられる一冊である。命が簡単に捨てられていく時代。本当に大切なものは何なのだろうか。



『何もかも憂鬱な夜に』

中村文則著

2年2組 椎原 奈央

施設育ちの主人公。刑務官である彼は、殺人犯であり同じ孤児の山井に、自分と重なるものを感じている。抱えている過去、

生きている事への不安、そして自分の中の闇との対峙。その中で主人公は何を考え、もがき、どう変わっていくのか。

はっきり言ってこの作品は暗い。人間の汚い部分が多々描写されている。しかし、読後に胸に残るものは命の尊さや重さ、生きていくことへの希望であるように思う。

「俺が言いたいのは、お前は今、ここに確かにいるってことだよ。」「どれだけ素晴らしいものがあるのか、どれだけ綺麗なものが、ここにあるのか。お前は知るべきだ。」これらは主人公が山井に語る言葉である。貴方は人生を変えた言葉、もしくは思い出だけで救われる人物はいるだろうか。この作品は、それと同じ重さで、読者の心に残る。犯罪、自殺、死刑制度、様々な問題提起がなされる中で、貴方は、この作品を通し、何を思うのか。



『おちくぼ姫』

田辺聖子著

2年2組 篠崎 鮎美

『シンデレラ物語』皆さんはこの話をご存じだろうか。女の子なら誰しもこの話に魅了され、主人公のシンデレラのようになりたいと願ったことがあるはず

だ。千年も昔、日本でもこの『シンデレラ物語』があったのだ。その作品こそが『落窪物語』だ。

おちくぼ姫と呼ばれる姫君と都でも評判の貴公子の恋物語、簡単にいえばそれだけの話だ。しかし『おちくぼ姫』には、他の物語と決定的に違う部分がある。

姫君と貴公子である少将のやりとりのほとんどは手紙であった。今の時代、自分の考えを素直に言葉にすることができる人は少ないだろう。しかし、だからこそ言葉の大切さがよくわかる物語となっている。

「わたしがほしいのは、あなただけです。」これは、少将が姫君に贈った言葉である。たった一言だが、この物語を読んでいくうちにとても深く大きな言葉であることがわかるはずだ。一言、一言をかみしめ読んでほしい。



『妖怪アパートの幽雅な日常①』

香月日輪著

2年2組 兵藤 安季紗

いとも簡単に価値観が崩れたような衝撃を受けました。この物語の主人公、稲葉夕土もそう感じたと言います。この『妖怪アパートの幽雅な日常』シリーズ

は、「普通の」高校生のちょっぴりファンタジーな日常のお話です。

私の普通。つまり日常は他の人にとって普通ではない、なんてことは分かっているつもりでした。しかし私も、そして彼、夕土も本当は分かっていたのです。だからこそ作中の様々な言葉に感銘を受け、違和感を抱き、そして自分の中で消化して納得できる、そんな小説です。

ありきたりですが、中でも印象に残ったものに「考え方ひとつで世界は変わる。」という主旨の言葉がありました。それに対し夕土は「自分の考えや常識で自分を縛る必要はない。」と、夕土なりに世界を広げたのです。

読者の数だけ受け止め方は多様です。夕土と同年代の今、一度は読んで欲しい一冊です。



『永遠の0』

百田尚樹著

2年3組 舎川 誠太

主人公である姉と弟がカミカゼ特攻隊で亡くなった実の祖父のことを調べていき、当時を知る人々から様々な話を聞いていくというストーリーです。この本を読んでいくと主人公と一緒に知らなかった戦争のことをいろいろ学んでいくことができます。例えば最初はゼロ戦がとて強くアメリカ空軍はゼロ戦に出会ったら戦うなという命令が出されていたというのは驚きました。

祖父はとても優秀なパイロットですが、他の軍人とは異なり生きて帰ることに執着します。どちらかと言えば現在の人と同じ感覚の持ち主だったと言えます。ですが当時としてはかなり変わったように見られたり卑怯者のように思う人物もいたようです。しかし本当はそうではなかったということがだんだん分かってきます。本当の勇気とは何かを教えてくれる物語です。日本人なら一度は読むべきではないでしょうか。



『カラフル』

森絵都著

物質工学科1年 大石 侑季

あなたは自分をどんな子だと思っていますか。明るく活発な子、静かで大人しい子、まじめな子、お調子者。いろいろなあり方があります。そして、そんな自分に満足していますか。それとも不満に思っていますか。

この本は、ある理由で死んだ男の子が、突然現れた天使によって、一度自殺した少年の体に入り、小林真として下界で生活していく話です。

主人公は、真や真の家族、クラスメイトを第三者の立場で見ること、真の弱さや家族の過ち、少しずつ感じる優しさに気付いていきます。そうしていくにつれ、初めは真っ黒だと思っていた真の人生が、見方次第でいろいろな色を秘めていることに気がきます。

あなたの周りは何色に見えますか。また、あなた自身は何色だと思いますか。この本を読みながら、自分の中にあるいろいろな色を探してみてください。今まで知らなかった色が見つかるかもしれません。



『生きてるだけでなんくるないさ』

玉元栄作著

電子情報工学科1年 加藤 千佳

二十五歳という若さで十万人に一人という珍しいガン宣告を受けた玉元栄作さん。その後、完治するものの一年後に再発。そして急性骨髄性白血病など次々と難病に襲われていく。しかし、彼は決して挫けずに病氣と闘い続けていた。それは「家族」というかけがえのない存在が彼に力を与えてくれているからだ。彼にとってガンという病氣が「家族」というものを作るきっかけになっていた。そして父親になって初めてたくさんの事に気付けたという。この本はそんな玉元栄作さんの闘病生活や家族への愛が記されている。子供のそらちゃんや妻の美香さんのために一生懸命生きている玉元栄作さん。私はそんな栄作さんから“生きている”ということとはとてもすばらしく、とても尊いことだと改めて感じることができた。玉元栄作さんにとっての“生きる”の意味は子供のそばにいたことだった。この本であなたの“生きる”の意味を改めて考えてみませんか。



『置かれた場所で咲きなさい』

渡辺和子著

建築学科1年 荒木 宏斗

「こんなはずじゃなかった」と思う事が、生きていると次から次に出てくる。そんな時どう考え、行動すればいいか。その答えが、たまたま開いたら見つかりそうな本だ。著者はノートルダム清心学園理事長であり、八十五歳までの人生の苦難や、修道者として関わり学んだ体験が、四章四十項目に区切られて分かりやすく書かれている。修道者とはいえ、やはり人間。失敗や挫折、苛立ちという人間らしい自分の経験から書かれている。単なるもつともらしい教えではないという所が、面白いと思う。

タイトルに「咲きなさい」とあるため命令的に思えるが、その後がとても心に響く。どうしても咲けないときは無理にさかなくてもいい。根を下へ下へと伸ばす。次に咲く花が大きく美しいものとなるために。

この本は、失敗した時や社会に出た時に読みかえたいと感じた。恥じない生き方を教えてくれる本だ。

審査員講評

図書館情報管理部室員 菱岡 憲司

あらすじと感想のバランスをどうするか悩ましいところ。もちろん、まとめ方にも個性は出るが、やはり紹介者の強い思い入れがなければ、読んでいて退屈だ。

もっとも思い入ればかりで、とにかく読め読めと言われてもうるさい。自分がどこに感銘を受けたのか、どこに読む価値があるのか、さりと、しかし印象的に紹介してほしい。

機械工学科 南 明宏

本企画の審査員を4年連続でさせて頂いておりますが、年々応募数も増え、内容もレベルアップしており、選考がより一層難しいというのが実感です。また、同じ本の紹介においても、各学年で‘感性’が異なり、様々な観点からの解釈があるということも面白く、興味深く感じております。

国際性、学際性、多様性等が求められる昨今、‘国語力’も非常に大事な要素であり、読書量に比例してこの力も養われるものと確信しております。私も積ん読を止め、学生諸君に負けないように読書しようと思っています。

電気工学科 清水 暁生

多くの紹介文を読ませていただき、すばらしい作品にたくさん出会うことができました。私が選んだ紹介文では、自分が面白いと感じたポイントを紹介し、どのような点に着目して読んでほしいのかが書かれています。また、あえて暗い内容の本を紹介し、その本を通して感じてほしいこと、考えてほしいことなどが書かれている紹介文もあります。紹介された本を読むときは、是非、紹介文に書かれているポイントを参考にしてみてください。

電子情報工学科 嘉藤 直子

今回も、紹介文を大変興味深く拝見させていただきました。特に心に強く残ったのは、学生の皆さんと同年代の人が主人公である本の紹介文でした。皆さんの考え方や感情などを、主人公と重ね合わせながら表現しているところが、私にとっては新鮮でした。私にない素敵なものを皆さんは持っているのだと改めて感じさせられました。皆さんの年代はとても多感な時期です。たくさんの本とめぐりあい、素晴らしい感性を磨いていってください。

物質工学科 宮本 信明

初めて君たちの読書感想文を読ませてもらいました。君たちの感動や感激などが伝わる文章が多かった気がします。また、対象の本が古典ものから最近の映画やドキュメンタリーのものまでバラエティーに富んでおり、感想文を読む方としても楽しかったです。

思い出に残る本はだれにでもあると思います。時には人生を大きく変えることになることもあります。皆さんがそのような本にこれから出会えるように期待しています。

建築学科 上原 修一

久しぶりに、審査をしました。学生諸君が、多様な読書をしていることに感心しました。従来の古典的名著から、各人の興味のあるSFまで、幅広い本が紹介しており、読んでみたいと思わせる紹介文が多数ありました。賞に漏れた方も気にせず、読書を継続されることを望みます。

一方で、従来の古典的名著を、もっと多くの方に読んでもらいたいとも思いました。また、1、2年生でもクラスにより、提出率が異なることも気になりました。今回提出できなかった人は、来年度は、ぜひ積極的に取り組みましょう。

一般教育科 河村 豊實

本を読んで、文章の意味・内容が理解できるのは、それと共鳴する感性があるからであろう。「私の薦める一冊の本」は多種多様な分野に及んでいて、応募者の興味や関心の広さが伺える。

薦める本を人に読んでもらうには何が重要だろうか。少し長めのキャッチコピーのようなタイトルは、それだけでその本を読んでみようと思わせる。本の概要を簡潔に伝え、本の主題の理解を助けてくれる紹介文があれば、その本を読んでみたいと思う。

教職員推薦図書

平成24年度に新しく着任された先生方の推薦図書です。印章に残った本や、学生に読んでもらいたい本を選んで、エピソードなども交えつつ推薦していただきました。

ここで紹介する本は図書館でも揃えていきますので、是非手にとって読んでみてください。

『旧約聖書を知っていますか』

阿刀田高 著 (新潮文庫)



電子情報工学科
森山 英明

私が学生の頃、有名な文学作品を好んで読んでいました。丁寧な文体で記述されているため読みやすく、読了後に感動を与えてくれたり、自己の反省や啓発を促してくれます。

しかし、文学作品ばかり読んでいると飽きてしまい、内容によっては気が滅入ってしまいます。こんなときに、楽しく読める本として本書を読んでいました。

この本は、現在のイスラム教、キリスト教、ユダヤ教の源流となった文書である旧約聖書を、無宗教者の立場から読み解き、解説した本です。宗教の解説本と聞くと難解なイメージがあると思いますが、面白いエピソードを厳選し、著者のユーモアを交えて紹介しているため、気軽に読むことができます。

今後、皆さんは国内外で海外の人と接する機会が増えてきます。海外では生活や文化に宗教が強く根付いており、宗教との繋がりが弱い日本人には理解し難いことが多いと思いますが、宗教を知っておくことで相手への理解を深めることができるのではないのでしょうか。

普段から本を読まないという人も、図書館や本屋で見かけましたら、ぜひ手に取って眺めてみてください。

『銀河英雄伝説』

田中芳樹 著 (徳間書店)



物質工学科
大河平 紀司

この記事執筆するにあたり、どのような書籍を題材にするか非常に悩みました。自己啓発本、ノンフィクション、歴史など様々な内容の書籍がある中で、私が今回お勧めする銀河英雄伝説はSF小説に分類されます。「え、SF小説を？」と思う方もいると思いますが、難しい本の紹介は他の先生にお任せします。

私がこの作品を初めて手にしたのは大学院時代で、個性が違ふ登場人物たちの息をのむような駆け引き、圧倒的なスケールで描かれる世界観、そして何より宇宙人・ロボット・超能力といったSF小説でありがちな要素が全く登場しない点に強く惹かれました。また、「後世の歴史家による記

述」という内容であるため、読者側には100%の情報が与えられず、これにより逆に読み手の想像が膨らむという点も本作品の魅力だと思います。この作品には、友情と絆、争いの中でみられる権謀術数、そして何より「人間臭さ」が溢れています。特に、英雄と呼ばれる二人の登場人物の言動には「感動」というより「衝撃」を憶えました。この記事執筆したことで、私もまた再読したくなってきました。

『理科系の作文技術』

木下是雄 著 (中公新書)



建築学科
岡本 則子

授業の課題や卒業研究などで、みなさんも文章を書く機会が度々あると思います。難なく取り組むことのできる人もいれば、試行錯誤を重ね苦勞している人もいるでしょう。

いずれにしても、文書の作成にあたり、お薦めしたい一冊が『理科系の作文技術』です。同書では、理科系のわかり研究者・技術者・学生を対象とし、論文やレポートなどの書き方のコツがまとめられています。

文書を作成する上で最も大事なことは中身ですが、読者がきちんと読んでくれるように書けていなければ意味がありません。そのポイントとして、叙述の順序(概観から細部へ)、ひとつの paragraph にはひとつの主張、事実と意見の区別、はっきりと言い切る姿勢、文は短く、といった内容が挙げられています。

以上はあたりまえのことと思うでしょうが、意外に達成できていないものです。同書を参考に、一度自身の書いた文章を見直してみたいかがでしょうか。

『数学小景』

高木貞治 著 (岩波現代文庫)



一般教育科
青影 一哉

皆さんはパズルが好きでしょうか？ 私がパズル好きになる切っ掛けになったのがこの本である。この本には難しい式が出てくる事も見覚えのない記号が出てくる事もない、そんな小話が6話(一筆書き、地図の塗り分け、魔方陣…)収録されている。

20世紀初期に15パズルというスライドパズルが流行った。いまでも観光地の土産物として見かける事がある。4×4のボードの上に15枚の駒が乗っていて、一カ所だけ空白になっている。その空きマスを利用して駒をスライドさせ目的の形を作るというパズルである。パズルは壊れるものである。ルービックキューブにしても少し変な力が加わればピースは外れる。外れたピース(駒)を適当にハメ込んだ時、はたしてスライドだけで元の形に戻すことは可能だろうか？ この問題が真剣に議論されている。どうでもいいと思うことなかれ。そこには数学の美しさが溢れている。物事の本質を掴むのは難しい。数学的な見方、本質の掴み方とはどういう事なのか6話を例に教えてくれる。数学とは何か？ この答えが知りたい方は是非読んで頂きたい名著である。

読書感想文秀作選

平成24年の夏休みに課した読書感想文から、秀逸な一編を紹介します。（菱岡憲司）



『ぼくは勉強ができない』

山田詠美（新潮文庫）

2年1組（物質工学科） 石橋 佑樹

「価値観とは何だろう」。この本を読んだ後の最初の純粋な気持ちである。価値観とは「大事なことの判断や、ものごとの優先順位づけ」だ。こんなことだったら調べれば、いくらでもでてる。だが、私が知りたいのは、調べたら簡単にでてくるような意味ではない。例えば、蛇口から水が流れているとしよう。この場合「もったいない」と思うか「この程度、何ともない」と思うかは皆違う。これは、水に対しての価値観が違うからだ。命に対しても、同じことが言えるだろう。私が知りたいのは「こんなとき人は本当はどう思うのか」「住んでいる場所が同じでも生育環境でどれだけ変わるのか」など、決してパソコンを叩いても、辞書をひいても分からないことだ。価値観とは、友達、ましてや血のつながっている者でも百八十度考えが違うものだと私は考えている。

この本の主人公の名前は「時田秀美」。秀美は、どうやら他の人とは違う価値観を持っているようだ。ああ言えばこう言う。言い訳や屁理屈ばかり言う。端から見れば嫌な、白い眼で見られるような奴だ。だが、秀美は、自分の価値観にしっかりと理由を持っている。自分の中に「自分」というものを持っているのだ。他人の眼や意見にばかり気をとられたり、自分を押し殺して「自分」や価値観を失ったり、貪欲すぎて欲に溺れたりする人に比べると、この主人公は、遙かに偉いとも言える。ただ、だからこそ、小学生の最初の頃は、あまりに無神経な態度で、周りに合わせる事ができず、同級生からも先生からも一線を引かれていた。だが私は、秀美に憧れる。私は、他人の眼や意見にばかり気をとられる部類に入る。だからこそ憧れる。自分の言葉を素直に周りを気にせず言えたらどんなに良いだろうか。

そんな秀美が小学生の時、ある事件が起こる。金が無くて食べていくのに困っている同級生の女の子、そのことを知った秀美は、給食のパンをあげたのだ。だが、女の子は、そのパンを投げ返して、机に突っ伏して大泣きし始めたのだ。秀美に悪気は無かった。だが、パンをやってしまったことが、その女の子のプライドをズタズタにしてしまった。その日、家に帰り、おじいちゃんにこのことを話した。するとおじいちゃんは「そんなつもりじゃないのが一番悪い」と言い、秀美は強い衝撃を受けた。「悪意をもつのは、その悪意を自覚したからだ。それは、自覚して、失くすこともできる。けどね、そんなつもりでなくやってしまうのは、鈍感だということだよ」。この事件は、秀美の人生のターニングポイントと言ってもいいだろう。

高校生になった秀美は色々な友達に囲まれ、色々な経験を積む。人を見る目や、考え方など、価値観はやはり人と違うが、それ故になるほどという意見が示される。私は秀美の考え方が面白くてたまらなかった。何も見えていないくせに見解だけ述べる大人。真面目すぎて型にびつりとはまった大人の考えを秀美は嫌う。当たり前だ。私だってそうだ。面白くない。なぜだろうか。ものの見方が違うのか、景色が違うのか、価値観が違うのか。

私は私だ。秀美は秀美だ。他人は他人だ。価値観は多種多様だ。十人十色だ。何が先で何が後かは人それぞれだ。違うからこそ秀美の考えが私は好きだ。「価値観の答えは」と聞かれたら私は答えられない。だが秀美のお母さんはこう考える。自分を自分とわかる、自覚することが何より大事なのではないか、人と違う部分を素直に認められ、価値観を共有できることが大事なのではないか、と。私もこのことが一番大切だと感じた。例えば、時間にルーズな外国の文化に接したとき、映画で自分の嫌いなシーンを友人が好きだと言ったとき、自分から見て贅沢に思えるお金の使い方をしている人を目にしたとき、私は、人それぞれ価値観は違う、人は人、自分は自分だと思える人間でありたい。そうしてはじめて、自分を自分と自覚できるのではないだろうか。

文芸愛好会の設立 文芸愛好会顧問・菱岡憲司

いまから20年以上むかし、有明高専にも文芸部が存在した。しかし昭和62年の廃部後、かつて文芸部があったことを知る者も少なくなっていた。そんな折、「文友会」は誕生した。会の主な活動は読書会。会長の中田峻（3I）を中心に月一度の読書会を行い、毎回、活発な意見が交される。この地道な活動が認められ、平成24年8月の全校集会において、文芸愛好会として正式に承認された。その後は文芸愛好会を正式名称としつつも、思い入れのある「文友会」を愛称として併用し、部員たちはさらなる読書・表現活動に励んでいる。

その一貫として雑誌「不羈」を発行し、先の高専祭において配布した。不慣れな執筆・編集・製本作業にとまどいつつも、何とか仕上げたはじめての部誌は、予想を上回る好評を博した。用意した250部は高専祭初日になくなる勢いで、やむを得ず配布をひかえたほどであった。寄せられたアンケートも好意的で、部員たちは次なる執筆に意欲を燃やしている。

理系・工学系の学校であっても、人間の文学・物語・文章表現への根源的な希求は抑えようもない。過去の文芸部の存在は知らずとも、時代を隔てて文学への志を同じくし、こうして文芸愛好会の設立につながったことは、じつによろこばしい。有明高専文芸部の伝統を受け継ぎ、次代へ伝えていく活動は、まだはじまったばかり。ただ興味があさええすれば、入部は可能。まずは読書会をのぞいてください。



新着図書紹介

ブックハンティング

毎年、図書館や読書への関心を高めることを目的として、学生自身が書店に行って図書を選ぶブックハンティングを実施しています。

今年度は、図書館長の焼山先生と図書情報管理部室員の菱岡先生の引率のもと、図書委員4名が、11月5日にジュンク堂福岡店に行ってきました。



『シャーロック・ホームズの思い出』

物質工学科5年 古賀 礼華

ベイカー街221Bにあるアパートにいる天才的な観察眼と推理力を持つ探偵、シャーロック・ホームズ。彼の元には奇怪な事件を持った人物が訪れる。書き手である医師のワトソンはシャーロック・ホームズに付き添って事のあらましを丁寧に書き記している。

この本はそんな彼がライヘンバッハの滝により失踪する前の事件を集めた作品集である。調教師が死に、さらに馬が失踪した白銀号事件や、何やら秘密がある夫人の捜査、長年仕えてきた執事の奇妙な行動などが記されている。

ホームズの推理力ときたら、ワトソンもそう言っているが理由を聞けばそれほど大したことではない。ただ単に事実から分かることを述べているだけなのにも関わらず、聞いた者はあっと驚き目を見開くのである。特に白銀号事件において、犬が吠えなかったという起きた事柄ではなく起きなかった事柄から注目をした観察眼は素晴らしいものである。

彼は小説の中に存在するただの登場人物にすぎないが、その観察力や考え方は現代にも通用しうるものだと私は思う。注意深く観察するというこの一点だけでどれほど多くの情報を得られるのかということはこの本から学んだ。視点を変えることでその出来事かどのように関与してくるのか、ホームズはそれを何回もワトソンに言っている。私たちはこの視点を変えるというホームズの推理力と観察眼が欠けているのではないかと感じている。

この本を読んで少しでも多くの見方と思考力を身につけ、今後の自分に活かすことが出来るような人間に成長していきたいと思う。



『悪魔と小悪魔』

—エリート悪魔と美少女の
火花散る知恵比べ—
物質工学科1年 江崎 智美

三つの願いごとと引き換えに魂を手に入れる悪魔たち。その中で、あらゆる手練手管で人間社会を堕落させてきたバルサザーは、若手ながら地獄さつてのやり手として広く知られていた。

ある日、人間に召喚され地上にやってきた彼が出会ったのは「エンジェル」の魂をもつ蜜、そして神に近く、とても希少価値の高い「黄金」の魂をもつ仁緒だった。「黄金」の魂を狙うバルサザーだったが、彼女は恐ろしいほど悪知恵が働き、思い通りにならぬどころか予想外のハプニングで人間に、その上、仁緒の家政夫をすることになってしまう。

策略・陰謀が交錯するバルサザーと仁緒の奇妙な同居生活を描いたマジカルホームコメディ(?)

最後に笑うのは、悪魔か小悪魔か——。



『彼女を好きになる12の方法』

機械工学科1年 木下 真寛

この作品は同じ大学の青年2人の視点から描かれる。大学に入学した時からずっと彼女と一緒にいることに疑問を感じ、彼女を好きになるために、いろいろ工夫する主人公。そんな彼と一緒にいる彼女に一目惚れし、どうにか接点を作ろうと躍起になる同じ大学の青年。意図して自分と現状を変えようとするが変わらず、それでいて明暗がはっきり分かれる悲喜劇を描いた作品で、過去に同じ状況になった人も多いと思います。

皆さんは自分の気持ちを伝えることができますか? あるいは自分の気持ちを理解できますか? そういった壁にぶつかった時、この主人公たちの12ヵ月に目を通してみてください。そして、少しは肩が軽くなるかもしれません。

著者名	書名	出版社
コナン・ドイル	シャーロック・ホームズの叢智(新潮文庫)	新潮社
コナン・ドイル	シャーロック・ホームズの帰還(新潮文庫)	新潮社
コナン・ドイル	シャーロック・ホームズの事件簿(新潮文庫)	新潮社
コナン・ドイル	シャーロック・ホームズ最後の挨拶(新潮文庫)	新潮社
コナン・ドイル	バスカヴィル家の犬(新潮文庫)	新潮社
コナン・ドイル	恐怖の谷(新潮文庫)	新潮社
コナン・ドイル	四つのサイン(シャーロック・ホームズ全集;2)	河出書房新社
コナン・ドイル	緋色の研究(新潮文庫)	新潮社
ジャン・ピエール・コルテア	ギザの大ピラミッド:5000年の謎を解く(「知の再発見」双書)	創元社
ステイグ・ラーソン	ドラゴン・タトゥーの女 上、下(ミレニアム;1)	早川書房
チン・ズアン・トゥアン	宇宙の起源(「知の再発見」双書;49)	創元社
綾辻行人	Another(アナザー)	角川書店
古沢良太脚本	リーガル・ハイ 百瀬しのぶノベライズ	扶桑社
黒井胤輔	ブラックアウト	双葉社
今野敏	ST沖ノ島伝説殺人ファイル(講談社ノベルス)	講談社

柴村仁	夜宵(講談社Box)	講談社
西尾維新	悲鳴伝(講談社ノベルス)	講談社
辻村深月	ツナグ	新潮社
東野圭吾	禁断の魔術(ガリレオ;8)	文藝春秋
東野圭吾	虚像の道化師(ガリレオ;7)	文藝春秋
入間人間	ぼっちーズ="Bocchies"	アスキーメディアワークス
入間人間	昨日は彼女も恋してた(メディアワークス文庫)	アスキーメディアワークス
入間人間	時間のおとしもの(メディアワークス文庫)	アスキーメディアワークス
入間人間	探偵・花咲太郎は閃かない(メディアワークス文庫)	アスキーメディアワークス
入間人間	探偵・花咲太郎は覆さない(メディアワークス文庫)	アスキーメディアワークス
入間人間	明日も彼女は恋をする(メディアワークス文庫)	アスキーメディアワークス
柳内たくみ	ゲート:自衛隊の地にて、斯く戦えり 1~5巻	アルファポリス
有川浩	ヒア・カムズ・ザ・サン	新潮社
有川浩	ラブコメ今昔	角川書店
橙乃ままれ	「この我のものと成れ、勇者よ」断る!!(まおゆう魔王勇者)	エンターブレイン
橙乃ままれ	忽都塔(クリルタイ)の陰謀(まおゆう魔王勇者/橙乃ままれ著)	エンターブレイン

新着図書紹介

学科教員推薦図書

図書館では、各学科の教員から学生の皆さんの学習・研究を助けるために購入する図書を推薦していただいています。
今年度は、以下の図書を購入しましたので、是非学習に役立ててください。

■ 機械工学科

著者名	書名	出版社
菅野照造監修・鉄鋼と生活研究会編	B&Tブックス:おもしろサイエンス鉄鋼の科学	日刊工業新聞社
海野邦昭	絵とき研削加工基礎のきそ	日刊工業新聞社
岡部眞幸	絵とき機械用語事典:工作機械編	日刊工業新聞社
海野邦昭	絵とき機械用語事典:切削加工編	日刊工業新聞社
平田宏一	絵とき機械加工基礎のきそ:[正]、続(スキルアップ編)	日刊工業新聞社
朝比奈奎一	絵ときCAD/CAM基礎のきそ	日刊工業新聞
宮谷孝	絵ときバリ取り・エッジ仕上げ基礎のきそ	日刊工業新聞社
澤武一	絵ときフライス加工基礎のきそ	日刊工業新聞社
関口博、高下二郎	絵ときマシニングセンタ基礎のきそ	日刊工業新聞社
吉田弘美	絵ときみがき加工基礎のきそ	日刊工業新聞社
海野邦昭	絵とき穴あけ加工基礎のきそ	日刊工業新聞社
出光興産潤滑油部潤滑技術二課編	絵とき「工業潤滑剤」基礎のきそ	日刊工業新聞社
海野邦昭	絵とき工具研削基礎のきそ	日刊工業新聞社
横山哲男	絵とき工作機械基礎のきそ	日刊工業新聞社
黒瀬矩人、片岡征二	絵とき精密測定基礎のきそ	日刊工業新聞社
海野邦昭	絵とき切削油剤基礎のきそ	日刊工業新聞社
海野邦昭	絵とき難研削材加工基礎のきそ	日刊工業新聞社
横山明宜	元素から見た鉄鋼材料と切削の基礎知識:「材料と加工の世界」がつながる!	日刊工業新聞社
澤武一	トコトンやさしい旋盤の本	日刊工業新聞社
海野邦昭	トコトンやさしい切削加工の本	日刊工業新聞社
狩野勝吉	難削材の上手な削り方:ステンレス鋼、金型材料、チタン合金	日刊工業新聞社
横山哲男	切削加工のツボとコツ	日刊工業新聞社

■ 電気工学科/電子情報工学科

森博之	「NET開発者」のための Silverlight 入門	工学社
大藤幹	10日でおぼえるCSS/CSS3入門教室	翔泳社
古旗一浩	10日でおぼえるHTML5入門教室	翔泳社
山田祥寛	10日でおぼえるjQuery入門教室	翔泳社
アンク	Cの絵本:C言語が好きになる9つの扉	翔泳社
堀江美彦	PHP+MySQLでつくるウェブアプリ	秀和システム
高木茂孝	アナログ電子回路入門	数理工学社
酒井聡樹	これから学会発表する若者のために:ポスターと口頭のプレゼン技術	共立出版
酒井聡樹	これから論文を書く若者のために:大改訂増補版	共立出版
谷口研二、宇野重康	絵から学ぶ半導体デバイス工学	昭晃堂
岩澤孝治、大三角康	見方・かき方オペアンプ回路	オーム社
Randal L.Schwartz, brian d foy, Tom Phoenix; 近藤嘉雪訳	初めてのPerl:第6版	オライリー・ジャパン
Jan Goyvaerts, Steven Levithan; 長尾高弘訳	正規表現クックブック	オライリー・ジャパン
佐藤竜一	正規表現辞典:メタキャラクターファレンス&目的別逆引きリファレンス	翔泳社
田原真人	単位が取れる電気回路ノート	講談社
杉本泰博	理工系のための解く!電子回路	講談社

■ 物質工学科

田村隆明	DNA実験の基本をマスターする	羊土社
Susan McMurry	Study guide and solutions manual for McMurry and Simanek's fundamentals of organic chemistry	Thomson Brooks/Cole.
岡田雅人、三木裕明、宮崎香編	タンパク質をしらべよう	羊土社
長谷俊治、高尾敏文、高木淳一編	タンパク質をつくる：抽出・精製と合成	化学同人
岡田雅人、宮崎香編	タンパク質をとり出そう	羊土社
竹縄忠臣、伊藤俊樹編集	タンパク質実験ハンドブック：取り扱いの基礎から機能解析まで完全網羅！	羊土社
三吉克彦	はじめて学ぶ大学の無機化学	化学同人
津村ゆかり	よくわかる最新分析化学の基本と仕組み：基礎から学ぶ分析化学の現場とノウハウ	秀和システム
田村隆明編	遺伝子の発現・機能を解析する	羊土社
加藤正直、内山一美、鈴木秋弘	基礎からわかる機器分析	森北出版
荻野博、飛田博実、岡崎雅明	基本無機化学	東京化学同人
齋藤勝裕、渡會仁	絶対わかる無機化学	講談社
M.Hesse, H.Meier, B.Zeeh	有機化学のためのスペクトル解析法：UV,IR,NMR,MSの解説と演習	化学同人
John McMurry, Eric E. Simanek; 伊東椒、児玉三明訳	有機化学概説	東京化学同人

■ 建築学科

前真之：日経アーキテクチュア編	90分で分かる！本当のエコハウス：冷暖房から通風まで設計の新しい基本を楽々マスター	日経BP社
前真之	エコハウスのウソ	日経BP社
上野佳奈子編；橘秀樹[ほか]	コンサートホールの科学：形と音のハーモニー	コロナ社
水坂寛	ドリルで学ぶ Jw_cad：高校生からのCAD入門書	日経BP社
中川武監修	よくわかる日本建築の見方	JTBパブリッシング
デニス・R・マクナマラ；田中敦子訳	教会建築を読み解く：キリスト教建築の謎と鑑賞をきわめるポケットブック	ガイアブックス
斎藤英俊；穂積和夫イラスト	桂離宮：日本建築の美しさの秘密 新装版	草思社
井上一朗、吹田啓一郎	建築鋼構造：その理論と設計	鹿島出版会
日本建築学会編	時を編む建築	技報堂出版
日経アーキテクチュア編	住宅プラン図鑑：困難が生んだ21世紀の秀作50選	日経BP社
日経アーキテクチュア編	新しい防災設計：大地震に備え今すぐ実践する	日経BP社
中島智章	図説キリスト教会建築の歴史	河出書房新社
	全国115大学建築系学科卒業設計優秀作品136点	近代建築社
仙台建築都市学生会議、 せんだいメディアテーク編	卒業設計日本一決定戦 official book：せんだいデザインリーグ	建築資料研究社
日経アーキテクチュア編	天井大全：これ1冊で天井のすべてがわかる！	日経BP社
日経アーキテクチュア編	藤森照信	日経BP社
日経アーキテクチュア編	内藤廣	日経BP社
日経アーキテクチュア編	木造・木質の解法：建築・住宅での木材利用の秘策	日経BP社
坪井善昭[ほか]	力学・素材・構造デザイン	建築技術

■ 英語学習

ランガメール編集部、小池清勝、 Vanessa Hosford	a と the の物語：It depends on the context. (コンテキスト次第)	ランガメール
湯川鶴章	iPad英語学習法	阪急コミュニケーションズ
本山勝寛	YouTube 英語勉強法	サンマーク出版
デイビッド・セイン エートゥーゼット	その英語、ネイティブには通じません	KKベストセラーズ
兵藤ゆき	英語と格闘 in New York：ゆき姐の漫画エッセイ	日本放送出版協会(NHK出版)
齋藤孝	英語は「そこそこ」でさばればいい！：眠っている英語資源を掘り起こす15の方法	朝日新聞出版
森沢洋介	英語上達完全マップ：初級からTOEIC900点レベルまでの効果的勉強法	ベレ出版
西沢ロイ	頑張らない英語学習法	あさ出版
国井信一、橋本敬子	究極の英語学習法K/H System 入門編、入門編ワークブック、発展編	アルク
神田昌典	神田昌典の英語の近道：10年間で1年間で済ませる「非常識」学習法	フォレスト出版

平成24年度 美術ギャラリー紹介

美術ギャラリー創設のいきさつ

図書館長 焼山 廣志

有明高専図書館棟の2008年(平成20)全面改装で特筆すべき事は図書館棟1階のすべてのフロアを便つての「美術ギャラリー」が創設されたことです。

これには時代的背景があり、1989年(平成9)に大牟田美術協会からプロの絵画の寄贈を受けて本校図書館棟1階のピロティの一部に美術ギャラリーが開設されたことに端を発します。

当時、本学の学生及び大牟田市民の文化的な教養を高める場としてこの美術ギャラリーは大いに期待され、また美術ギャラリーを併設する図書館は全国でも珍しいことから“特色ある図書館”としてマスコミを通じて全国に宣伝・公開されました。

今回の改装では、全国の高専の図書館にこうした施設は前例がない中での設計施工に多くの労苦を伴いましたが、その結果、今までの美術ギャラリーの伝統を反映したゆとりの空間を創設することが出来ました。

この一新されたギャラリー空間に美術協会のプロの会員の方々から全面的なご支援を受け、全国レベルで出展された自作の絵画や書画、写真などを無償で展示して頂きました。

それが現在も継続しています。

この学生・教職員のみならず一般市民にも芸術作品を直に鑑賞できる、他に類を見ない特色のある美術ギャラリーは有明高専の貴重な財産です。

そして、この展示されている作品群は大牟田美術協会の会員の皆様の全面的なご支援のもと、年に一度大々的に入れ替えを行っており、毎年趣向を凝らした展示となっています。

大牟田美術協会の加治屋隆旧会長及び木村和子会長を始めとする会員の皆様のこれまでのご支援に深謝申し上げるとともに、今後末永く、本校の美術ギャラリーにご支援を仰ぐことが出来ますことを、そして、この美術ギャラリーが他高専にない特色ある建築空間として有効利用され、機能していくことを切に願っています。

new!



(写真)作品名:山鹿灯籠娘
作者:渡辺 和彦

new!



(書)作品名:造
作者:境 龍井(秋男)



(写真)作品名:泥ん子大将
作者:渡辺 和彦



(写真)作品名:華麗なアピール
作者:中村 信也

new!



(写真)作品名:人力車初体験
作者:高口 博文

new!



(書)作品名:我
作者:奥園千万喜



(写真)作品名:水蓮
作者:高口 博文

new!



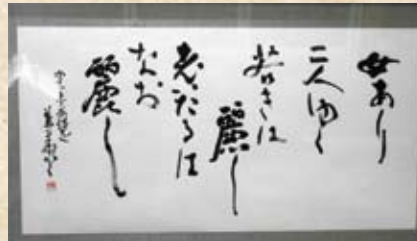
(書)作品名:牀前看月光
作者:山口 八石(修一)

new!



(写真)作品名:友達
作者:中村 信也

new!



(書)作品名:ホイットマンの詩
作者:江口 葉華(美津子)

new!は、2012年11月17日に新しく展示された作品です。

new!



(洋画) 作品名: からすうり
作者: 今村 愛子

new!



(洋画) 作品名: 秋日和
作者: 木村 和子

new!



(洋画) 作品名: 向日葵
作者: 河上 導道

new!



(洋画) 作品名: モンサラーシュの風
作者: 松尾 正勝



(洋画) 作品名: 雪原の朝
作者: 木戸 直道



(洋画) 作品名: バレリーナ
作者: 石井 保

new!

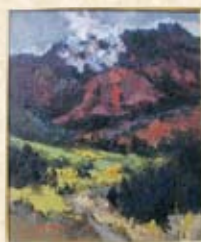


(洋画) 作品名: 舟屋
作者: 野田 幸枝

new!



(日本画) 作品名: 猫と石路
作者: 角 久仁子



(洋画) 作品名: 硫黄山
作者: 大山 好美



(洋画) 作品名: 炭車
作者: 黒田 寛之



(日本画) 作品名: 祭りの日
作者: 石井 保



(洋画) 作品名: 中国の屋根
作者: 院丸 憲之

new!



(洋画) 作品名: 葡萄
作者: 鶴 由海子

new!



(洋画) 作品名: 森
作者: 西川 正人

new!



(洋画) 作品名: 眼鏡橋
作者: 岩本 久子



(洋画) 作品名: 朝陽阿蘇
作者: 加治屋陸



(日本画) 作品名: 牡丹
作者: 小川 研



(洋画) 作品名: 高森
作者: 永井 正文

new!



(日本画) 作品名: 都の月
作者: 奥苑 和司

new!



(洋画) 作品名: 或る日
作者: 清水 正敬

new!



(洋画) 作品名: 夕映
作者: 古賀 悦子

new!



(洋画) 作品名: ロッキングチェア
作者: 田中 陽子



(洋画) 作品名: 希望
作者: 木戸 直道

new!は、2012年11月17日に新しく展示された作品です。



図書館ガイド

～本や雑誌を探すには?～



「読みたい本があるのだけど図書館にあるのかなあ?」「図書館のどこにあるの?」

その疑問、OPAC (オーパック:蔵書検索システム) を使えば、解決できます。

OPACはインターネットで公開されていますので、以下のURLにアクセスして知の宝庫である図書館を大いに利用してください。

図書館HP

<http://www.or.ariake-nct.ac.jp/lib/>

巻次	所属機関	配架場所	請求記号	登録番号	状態	コメント
	有明工業高等専門学校	図書館、研究...物質工...	431.53 F	1110021595	貸出中[2013.01.29返却期限]	

拡大

例では、研究閲覧室の物質工学科の書架に配架されています。ただし、この場合、「貸出中」です。カウンターで予約の手続きを行うと返却時に連絡が届くサービスもあります。



電子ジャーナルは、学内のどこからでも、アクセスすることができ、学術雑誌の本文を読むことができる便利なツールです。有明高専では以下の電子ジャーナルを購入しています。詳しくは、図書館HPにも掲載していますので、是非活用してください。

Science Direct(サイエンス・ダイレクト)

エルゼビア社が提供するフルテキストデータベースです。エルゼビア社が発行する学術雑誌約2,500誌に掲載された論文情報を検索でき、そのうちの約2,000誌の1996年以降発行の論文については全文まで利用可能です。



AIP/APS

(American Institute Physics・American Physical Society)

アメリカ物理学会(American Institute Physics/American Physical Society (AIP/APS)) 発行の雑誌をWeb上で見られ、論文を手でできます。

Cinii(サイニー)

学協会が発行された学術雑誌と大学等で発行された研究紀要の両方を検索し、引用の状況および本文を参照できます。

MathSciNet(マスサイネット)

米国数学会(AMS: American Mathematical Society)が提供する、世界の数学文献をカバーする包括的な書誌・レビューデータベースです。

JDream II

独立行政法人科学技術振興機構(JST)が作成した科学技術や医学などのデータベースにアクセスして、手軽に検索できる文献情報検索システムです。

図書館統計

平成 23 年度利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	24	23	26	25	22	20	24	24	22	21	21	21	273
入館者数 総数	4,328	4,711	5,755	6,167	4,511	2,693	4,531	6,264	4,412	4,703	5,352	1,540	54,967
(内夜間)	723	1,049	1,212	1,417	668	0	907	1,282	875	996	910	0	10,039
(内土曜日)	212	165	264	323	131	0	165	285	96	88	101	0	1,830
1日平均	180.3	204.8	221.3	246.7	205.0	134.7	188.8	261.0	200.5	224.0	254.9	73.3	201.3
貸出冊数 総数	466	373	428	534	361	164	409	350	524	415	376	48	4,448
(内夜間)	76	80	124	149	50	2	68	73	153	81	70	0	926
(内土曜日)	22	16	8	31	1	0	18	7	14	10	5	0	132
1日平均	19.4	16.2	16.5	21.4	16.4	8.2	17.0	14.6	23.8	19.8	17.9	2.3	16.3

分類別図書貸出冊数の推移

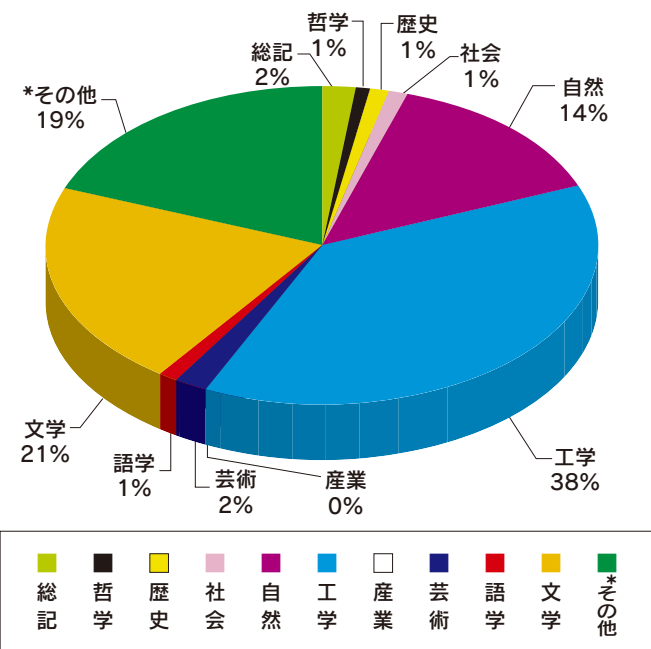
年 度	総記	哲学	歴史	社会	自然	工学	産業	芸術	語学	文学	*その他	合計
平成 19 年度	74	63	53	32	568	1,791	5	61	8	689	793	4,137
平成 20 年度	88	62	90	67	523	1,756	13	108	48	971	899	4,625
平成 21 年度	83	59	46	52	587	1,684	12	136	40	1,071	914	4,684
平成 22 年度	104	64	23	32	754	1,632	2	48	53	968	908	4,588
平成 23 年度	146	80	48	60	624	1,594	4	41	58	1,153	640	4,448
平均	87	62	53	46	608	1,716	8	88	37	925	879	4,496

*「その他」は、文庫・新書および雑誌の貸出冊数を示す。

利用状況の推移

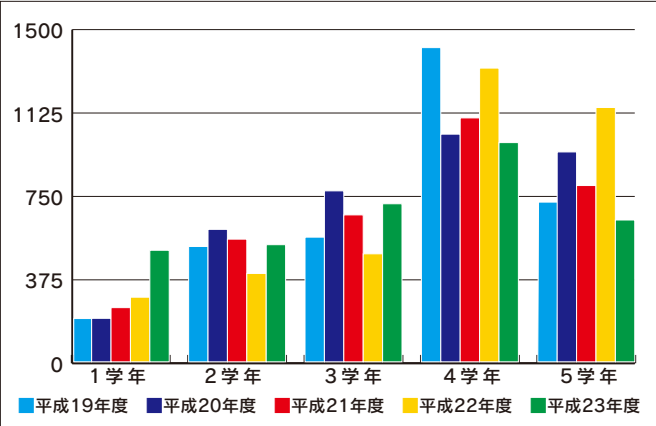
年 度	開館 日数	利用登録状況				入館者数		貸出冊数				1日当たりの数値		1人当たりの数値	
		総数	(内学生)	(内教職員)	(内学外利用者)	総数	(内夜間 土曜日)	総数	(内学生のみの 貸出冊数)	(内夜間 土曜日)	(内学外 利用者)	(1日当たり 入館者数)	(1日当たり 貸出冊数)	学生1人 当たり 貸出冊数	利用者1人 当たり 貸出冊数
平成 18 年度	271	1,273	1,073	175	25	73,033	14,340	7,576	6,893	1,945	222	269.5	28.0	6.4	6.0
平成 19 年度	235	1,311	1,099	176	36	40,427	4,990	4,137	3,788	759	126	172.0	17.6	3.4	3.2
平成 20 年度	274	1,306	1,097	165	44	57,205	11,636	4,625	4,061	1,251	232	208.8	16.9	3.7	3.5
平成 21 年度	274	1,352	1,085	209	58	58,441	11,602	4,684	3,978	1,242	222	213.3	17.1	3.7	3.5
平成 22 年度	277	1,321	1,083	174	64	57,317	13,146	4,588	4,102	1,449	179	206.9	16.6	3.8	3.5
平成 23 年度	273	1,324	1,082	176	66	54,967	11,869	4,448	4,086	1,055	143	201.3	16.3	3.8	3.4

分類別図書貸出冊数(平成19～23年平均)



学年別図書貸出冊数

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	計
平成 19 年	201	525	567	1,419	722	3,434
平成 20 年	222	602	775	1,030	950	3,579
平成 21 年	250	558	667	1,103	765	3,343
平成 22 年	297	380	492	1,327	1,126	3,622
平成 23 年	508	533	717	992	644	3,394



郷土の文化財

大牟田市指定有形文化財
旧長崎税関三池税関支署庁舎
明治41年(1908) 大牟田市新港町



外観(船渠側)

三池港船渠南端の岸壁の傍に建つ洋風の建物は、明治41年4月の三池港開港と同時に設置された税関庁舎である。三池港は三池炭鉱の石炭を輸出するため明治35年に築港工事が始まる。航路・内港・船渠で構成された港の最奥に船渠は位置する。

建物は入母屋造を船渠側にあらわし、反対側には切妻造の角屋が突出する。徳山石の基礎を建物外周に巡らし、下見板張の外壁の中に上下式の窓を開ける。3箇所の玄関の上部には入母屋造の庇屋根を付ける。コンクリート土間の公衆控室、板張りの事務室が入母屋造に、應接室・書類室が角屋に納まる。真束小屋組を用いて、広い事務室(70.6㎡)を造る。

ところで、「四十一年三池税関支署仮廳舎新築木造平家建瓦葺本館建坪三十五坪二合五勺附属建物十四坪一合七勺」という記録が残る。平成23年度の解体修理では、材質が良くない木の使用、雑な仕事等が確認された。このことは仮庁舎として建設されたことを物語る。また、1間を6.2尺とすることも本格的な建物でないことを示している。しかし、扉や窓廻り、玄関の庇等から、明治後期の立派な洋風建築であることは分かる。

日本に残る明治期の税関庁舎は当建物以外に、新潟税関(明治2年)、長崎税関下り松派出所(明治31年)、長崎税関口之津支署(明治32年)、門司税関(明治45年)しかなく、当建物は極めて貴重である。また、世界遺産をめざす「九州・山口の近代化産業遺産群—非西洋世界における近代化の先駆け」の構成資産に三池港は含まれており、当建物の存在により三池港の重要性は一層高まる。

(建築学科 松岡高弘)



外観(角屋側)



公衆控室



事務室

編集後記

18号は、「私の薦める一冊の本紹介文」の入賞作品の紹介や、美術ギャラリー展示作品の紹介、ブックハンティングや教員推薦図書等で今年度新規に購入した図書リストなどを掲載しました。

美術ギャラリーは、大牟田美術協会のご協力の基、年に1度作品の入替を行っており、今年も新作を多数展示していただいています。学生の皆さんは、プロの作品を身近に感じられる贅沢な環境だと思いますので、是非来館して鑑賞してみてください。

有明高専の図書館では、少ない予算ながらも学習用図書を各学科の教員に選書していただいたり、学生自身が書店に行って選書するブックハンティングを実施したりと資料の充実にも努力しています。

また、研究・学習資料の提供だけに限らず、インターネットの使用やレポート作成、自習・研究の場、芸術作品鑑賞の場として、さらには、余暇を過ごす場として利用できるような環境整備にも心掛けていますので、多くの皆さんの来館をお待ちしています。

図書館では騒がない、汚さないなどのマナーを守っていただき、皆さんと一緒に楽しい図書館空間が築けていけたらと思っています。

最後になりましたが、18号刊行にあたり、原稿を執筆していただいた先生方、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

(図書情報係長 渡邊真由美)